

# とやま

1998  
11  
No.358

県広報とやま  
富山県

特集／富山から広がる環日本海の環境協力



海辺の埋没・漂着物調査の研修のため来県した、ロシア・サハリン州の担当者（左から1人目と3人目）

# 江戸時代の 正確な地図にビックリ

【新湊市博物館】



加越能三州郡分略絵図



ユニークな外観が目印



エントランスホール

昔の地図や測量器具などが展示されています



レポーター  
酒井 麻恵さん  
(博物館職員)

十月十日にオープンした新湊市博物館は、江戸時代後期に正確な地図を作った学者、石黒信由(1760~1836)の業績を中心に紹介する博物館です。

射水郡高木村(現・新湊市高木)の村役人の家に生まれた信由は、若い頃から和算や測量術を学びました。文化五年(1808年)、金沢城の火災で領内の地図が焼失し、新しく作り直すことになりました。この時、信由が提出した射水郡の地図は、当時としては驚くほど正確なものだったため、藩は信由に、領内全域の地図を作成するよう命じたのです。

こうして、文政八年(1825年)に完成した加越能三州郡分略絵図は、現在の地図と比べてもほとんど差がないほど正確なもので、当時の世界最高水準といえる傑作です。同時代の地図としては、伊能忠敬が作った日本全国図が有名ですが、これは幕府が海防のために作らせたもので、海岸線だけが表現されています。一方、信由の地図は、



富山新聞社 提供

# 左手首の痛みを乗り越え、 国体六連覇！

「ちようどカヌー部ができた年で、珍しいスポーツだと思って何気なく始めたんです」。部としての歴史は浅いものの、高校三年には、ジュニア選手権の四人乗り部門で優勝。その後、さらなる飛躍を目指し、日本体育大学に進学しました。「入って驚いたのは、想像していたほど

指導がなかったことです。トレーニング方法など全て自分で考えていかねばなりませんでした」。しかし、厳しい自己管理の結果、大学三年の時、国体初優勝。以来、昨年まで国体五連覇を果たすなど全国的な活躍を続けてきました。ところが、今年思いがけない大きな壁が待ち受けていました。試合の三ヶ月前と二ヶ月前の二回にわたり、原因不明の左手首の痛みに襲われたのです。「力が入らないうえ、痛みで夜も眠れないほどでした」。レーシングカヤックは、流れのない水上でスピードを競う競技。本人も周囲も大きな不安を抱えて望んだ本番でしたが、猛烈なスタートダッシュで先頭を一度も譲ることなく逃げきり、フィニッシュ！「気がつくくと、痛みのこ

となど忘れて夢中で漕いでいましたね」。そのたくましい精神力には圧倒されるばかりです。

今年はいよいよ治療に専念するといふ黒川さんですが、標準はあくまでも二年後に迫った二〇〇〇年とやま国体。「二〇〇〇年は、自分にとって大きな区切りの年。一年一年を大切に戦っていきたくです」ときっぱり。また、これまでの国体出場で強く印象に残っているのは、地元の人々の熱い応援とか。「カヌー競技は、まだまだマイナーなスポーツですが、国体によって地域にカヌーが根づけば素晴らしいことですね」。二〇〇〇年国体の期待の星、黒川さんの言葉には、勝利へのこだわりのみならず、カヌーへの限りない情熱が感じられました。



● 黒川 忍さん

CONTENTS

- とやま遊学感 1 新湊市博物館
- ひとアズとやま 2 黒川 忍さん
- 特集 3 富山から広がる  
環日本海の環境協力
- ピンナップとやま 7 写真●谷川昭夫  
(富山県写真家協会会員)  
詩●萩原 充  
(富山県現代詩人会会員)
- クローズアップ 9 富山プロダクトデザイン  
コンペティション
- トピックス 11
- 健康ひとくちメモ 13
- 県の施設おでかけガイド 14

表紙撮影●赤羽仁論(富山県写真家協会会員)



### 汚染に敏感な環日本海地域

日本海や黄海は、経済交流や文化交流の歴史的な舞台であるとともに、沿岸諸国にとっては豊富な漁業資源をはじめ数多くの恵みをもたらしてくれる貴重な共有財産です。

しかし、この海域は、地理的に日本・ロシア・韓国・中国などに取り囲まれ、内海のような閉鎖性の高い海域であるため、いったん汚染されると、なかなか元に戻らないという性質があります。

### ひと事ではない、対岸の環境汚染

海洋汚染の原因としては、さまざまなことが考えられます。海上での重油の流出や、船舶からの排出物などのほか、最近では、陸上活動による汚染の影響が指摘されるようになってきました。

日本海や黄海の沿岸諸国では近年、工業化や都市への急速な人口集中などによって環境汚染が深刻になる一方、環境保全対策を進め



# 富山から広がる 環日本海的环境協力

環日本海交流の中核拠点をめざす富山県。そのキーワードの一つが「環境」です。

富山県が昨年設立した環日本海環境協力センターが、今年九月に政府所管の公益法人として許可され、財団法人環日本海環境協力センターとして新たにスタートしました。

今月の特集では、同センターの活動をはじめ、富山県の環日本海環境協力についてご紹介します。

るノウハウや技術者が不足しています。

これらのことは、決して対岸諸国だけの問題ではありません。陸地の環境汚染は、河川水の流入を通して海洋環境にも大きな影響を与えるからです。

### 環日本海環境協力センター

富山県は、日本海沿岸の中央部に位置し、ソウル(韓国)、ウラジオストク(ロシア)、大連(中国)と定期航空路線で結ばれるなど、地理的に強いつながりがあります。また、過去に公害に悩み、これを克服してきた経験があり、環境保全に関するノウハウと技術者を有しています。

県では、このような富山県の特性を生かし、環日本海地域における環境協力を進めてきました。

その一環として、昨年四月に設立された「環日本海環境協力センター」は、これまで任意団体として活動してきましたが、今年九月一日、政府(環境庁)所管の公益法人として許可され、新たなスタートを切りました。同センターの

目的は、「現在そして未来の人々が海の恩恵を享受できるように、海洋環境保全に寄与すること」。

そのために、次の三つを活動の柱として、様々な事業に取り組んでいます。

### 活動の柱

- 1 環境保全に関する交流  
対話と交流を通じた、海洋環境保全の雰囲気づくり
- 2 環境保全に関する調査研究  
環境保全対策に必要な調査研究の実施
- 3 環境保全に関する施策の支援  
海洋環境データやノウハウの共有化と、人的ネットワークづくり

### 具体的な事業内容

海辺の埋没・漂着物調査

海辺の埋没・漂着物を回収・分別し、プラスチックなどの人工物による海辺の汚染状況を調査するものです。今年、日本、ロシアの十六自治体で実施されました。



富山県の環日本海環境協力のあゆみ

- ◆平成6年
  - 12月 中国遼寧省へ環境調査団を派遣
- ◆平成7年
  - 8月 ロシア沿海地方へ環境調査団を派遣
  - 10月 韓国江原道へ環境調査団を派遣  
北西太平洋の海洋環境モニタリングに関するワークショップを開催
- ◆平成8年
  - 7月 ロシア沿海地方から環境調査団を受け入れ
  - 8月 韓国江原道から環境調査団を受け入れ
  - 10~11月 日本海沿岸海辺の埋没・漂着物調査を実施（国内10県が参加）
- ◆平成9年
  - 4月 環日本海環境協力センターを任意団体として設立
  - 7月 環日本海環境自治体サミットを開催  
NOWPAP第1回フォーラムを開催  
アジア環境国際フォーラムを開催
  - 10月 バイオアッセイ国際シンポジウムinとやまを開催
  - 9~10月 日本海沿岸海辺の埋没・漂着物調査を実施（国内13道府県と韓国1自治体、ロシア2自治体が参加）
  - 10月 ロシア沿海地方へ環境調査団を派遣
  - 11月 日海洋環境専門家会合の開催を支援  
中国遼寧省・韓国江原道へ環境調査団を派遣
- ◆平成10年
  - 3月 国際環境協力推進会議を開催  
環日本海 水環境シンポジウムを開催
  - 4月 ロシア沿海地方から渡り鳥調査団を受け入れ
  - 6月 中国遼寧省の遼河を現地調査
  - 8月 ロシア沿海地方から環境実務協議団を受け入れ
  - 9月 (財)環日本海環境協力センター設立  
NOWPAP専門家会合を開催
  - 9~10月 日本海沿岸海辺の埋没・漂着物調査を実施（国内13道府県とロシア3自治体が参加）
  - 10月 北東アジア地域自治体会議'98を開催  
中国遼寧省に環境関連産業の投資調査団を派遣

NOWPAP(北西太平洋地域海洋行動計画)の会議です。  
NOWPAPは、国連環境計画(UNEP)の提唱のもと、世界的な閉鎖性海域の沿岸国で進められている、海洋環境保全のための行動計画のひとつ。日本海と黄海を対象とし、日本、中国、韓国、ロシアの四カ国が参加しており、政府間レベルにおいて、油汚染事故への対応など海洋環境保全のための取り組みが検討されています。

富山では、昨年七月にNOWPAPの第一回フォーラムが開催されたのに続き、今年九月には、第三回フォーラム(年末にロシアで開催)に向けた専門家会合が行われま

これらの国際環境協力は、単なる対岸諸国への貢献で終わるものではなく、得意分野で国際協力することは、富山県がこれから発展していくための大切なシーズ(種)といえます。

富山県の発展につながる国際環境協力

富山は、まさに環日本海地域における環境協力の拠点として、大きな役割を果たすようになっていくのです。

県では引き続き、(財)環日本海環境協力センターを積極的に支援し、環日本海地域の海洋環境保全に努めるとともに、同センター、そして富山県が環日本海地域の環境協力の中核拠点となるよう取り組んでいきます。

問合せ (財)環日本海環境協力センター  
☎0764(45)1571

今年9月に開催されたNOWPAP専門家会合



水質環境に関する共同調査研究

汚染が深刻化している中国遼寧省の遼河の水質改善を目的として、汚染の特性や原因物質についての調査を遼寧省と共同で実施しています。

生物評価法(バイオアッセイ)による水質調査

生物の生息状況などを通じて、農業や化学薬品の環境への影響を調査する手法の研究を支援しています。

環境実務協議団の受け入れ

対岸諸国の自治体から、環境担当職員からなる実務協議団を受け入れ、協力事業についての意見交換や視察を行っています。



環境関連産業の投資調査団の派遣

中国遼寧省に、生活廃水処理等の環境関連企業関係者などからなる調査団を派遣し、生活環境の向上をめざす同省と、環境関連企業との橋渡しを行なっています。

国際会議も富山を舞台に開催

このほか、県では、環境をテーマにした国際会議を積極的に開催しています。

昨年七月には、環日本海諸国の自治体の代表者が環境問題をテーマとして一堂に会する「環日本海環境自治体サミット」を開催しました。会議では、環境保全に関する連携協力や、今後の油汚染事故への対応などが話し合われ、各自治体が環日本海地域の環境保全に積極的な役割を果たしていくことを決意する「富山アピール」が採択されるなど、大きな成果がありました。

また、今年の十月二十日(二十三)日には、環日本海地域の自治体を構成員とする国際組織「北東アジア地域自治体連合」の設立後はじめての総会として「北東アジア地域自治体会議'98」が開催され、参加地域が抱える課題について率直な意見交換が行なわれましたが、環境協力は主要なテーマの一つとなりました。

さらに近年は、政府間レベルの国際会議も富山を舞台に開催されています。その代表的なものが、



あいさつする中沖知事

愛の生誕

私の命は

あなたへと結ばれてゆく

あの奥深い山のひだをかいくぐって

私はあなたのもとへやって来た

私は一気にこの高みを下り終え

あなたのふところへ掛けおける

あなたの愛はやわらかで

私の尖鋭で傷ついた疾走のすべてをつつみ込む

愛は成就される

愛はこのように静かに成就される

そこから

新しい命がまた始まり

山間をぬけ稲穂の平野を川となって下り

すべての始まりの海へと

私はつらなる



昨年の作品展示会場

# 富山から生まれる デザインの新しい風

— 富山プロダクトデザインコンペティション —

県内企業による商品化を前提とした、ユニークなデザインコンペ「富山プロダクトデザインコンペティション」が、今年も開催される。



第1回入選作品  
目覚まし時計「GOO GOO」  
2,800円 (株)タカタレムノス



昨年のデザイン優秀賞作品  
「家庭用精米機」  
※マルマス機械(株)で商品化に向け準備中

## 企業のデザイン開発を 支援

デザインは、企業の経営戦略において重要な意味を持っている。しかし中小企業にとって、自社ブランドを新しく作っていくことは大変なことだ。

このため県では、昭和六十三年、高岡市に「富山インダストリアル・デザインセンター」を設立し、県内企業のデザイン開発を支援してきた。

プロダクトデザインコンペは、同センターが、富山県のデザイン振興を目的として毎年秋に開催する「デザインウエーブイン富山」の一環として平成六年から開催しているもので、今年で五回目を迎える。

## 県内企業と 全国の英知が出会う

プロダクトデザインコンペは、県内企業から新製品の開発テーマを課題として提出してもらい、全国のデザイナーに応募を呼びかけるもの。「商品化」を前提とするという全国的にもユニークなコンペで、地元企業としては、自社ブランドを創出したり、たくさんの商品アイデアを集めることができる。

などのメリットがある。

また、応募者の多くを占めるインハウスデザイナー(企業づとめのデザイナー)にとっては、日常の仕事から解放された場で創造性を発揮する、よい機会となっている。

いわば、県内企業のニーズと、全国のデザイナーの英知を結びつける出会いの場なのだ。

コンペで選ばれた作品は、同センターが商品化をサポートしてきた。これまでに、(株)竹中製作所のガーデンチェアや、(株)ニューズインターナショナルのテーブルカッターなどが商品化されている。

## ヒット商品も誕生

デザインクロックの分野で全国一のシェアを占める時計メーカー、(株)タカタレムノス(高岡市)は、平成六年の第一回コンペに、目覚まし時計を課題として提出、その入選作品をもとに平成八年七月、目覚まし時計「GOO GOO」を商品化した。

この商品は、首都圏のデパート、雑貨店などを中心に、これまで一万个以上を販売。月産五百個でヒットというこの業界にあって、かなりの好成績を収めている。昨年末には「GOO GOO」ブランドの新しいシリーズとして、掛け時計も発売された。

## 最終審査は一般公開

今年のプロダクトデザインコンペの課題は、次の二つ。

- ① シャワー椅子
- 課題提供：北陸アルミニウム(株)
- ② ガーディング用水差しポット
- 課題提供：(株)斉藤製作所
- ③ ガーデンライフを演出するフェンス
- 課題提供：立山アルミニウム工業(株)

これまでに全国から二百件余りの応募があり、十月二十二日には

一次審査が行われた。

とやまデザイン大賞、とやまデザイン優秀賞を決める最終審査は、十一月十一日に公開で行われる。熱のこもった審査風景を実際に見ることができるとわけた。

また、審査後には、応募作品の展示会も行われることになっている。この秋、あなたも、プロダクトデザインコンペの最終審査や展示会をのぞいてみてはいかがだろうか。富山から生まれるデザインの新しい風を感じることができるともれない。

問合せ 富山インダストリアル・デザインセンター

☎0766(25)5039  
http://www.itc.pref.foyama.jp/ide

## 【日程】 最終審査(公開)

11月11日(水)午後4時～6時30分  
ホテルニューオータニ高岡

作品展示  
11月11日(水)～18日(水)

午前9時30分～午後5時  
高岡市美術館地下ギャラリー  
ユニバーサルデザインパネルディスカッション  
11月13日(金)午後2時～5時  
高岡市美術館地下ハイビジョンホール  
入場無料

夕楽・夜楽

11月15日(日)午後6時～9時  
とやま自遊館ホール  
講師：デブ・スペクター(放送プロデューサー)  
参加費 一般3,000円 学生2,000円

## デザインの 創造拠点めざして

富山インダストリアル・デザインセンターは、来年夏、「とやま総合デザインセンター(仮称)」として生まれ変わります。

これは、県などが整備を進めている高岡オフィスパークの中核施設となるもので、情報サービスやデザインなどの頭脳産業を支援していくものです。

これまでのインダストリアル(産業)デザインに加えて、グラフィック、クラフト、インテリアなど、幅広い分野のデザインを対象とすることになっており、本県のデザインの創造拠点となります。

また、デザインモデルやCAD等の工房設備も完備し、県内デザイナーの人材育成にも力を入れることにしています。

もちろん、企業支援機能も強化。新たに、商品の市場調査を行い、県内企業のデザイン開発から商品化、そして販売までを総合的に支援することになっています。



(株)タカタレムノス企画室長

麻生 譲さん

## Interview

プロダクトデザインコンペには、様々な分野のデザイナーが応募してきます。中には、時計のデザイン開発を日常の仕事にしている自分たちには思いもつかないような自由な発想の応募作品もあります。そんな作品を見ていると、何だかわくわくして、力が湧いて来るのを感じます。このような出会いを通して、県内企業の企画スタッフの創造力を豊かにしてくれることもプロダクトデザインコンペの魅力だと思えますね。

第二回県民芸術文化祭

9/23



出演者全員による合唱

■芸術文化の秋を彩る「第二回県民芸術文化祭」が開催されています。これは、一昨年に開催された第11回国民文化祭とやま'96の成果を生かし、昨年から開催されているものです。

■九月二十三日には、高岡市民会館において、オープニングフェスティバルが開催されました。催しでは、中沖知事が、「県民芸術文化祭を通して、本県の芸術文化活動が一層活発になることを念願する」とあいさつ。そして、県内女声合唱団による合同演奏や、平高校郷土芸能部による五箇山民謡、砺波市出町の子供歌舞伎、高岡商業高校吹奏楽部と県出身プロ奏者との競演などが繰り広げられました。台風七号が襲来した翌日にもかかわらず、会場には約千三百人の観客が訪れ、いきいきとしたステージを楽しみました。

九月二十四日から二十七日まで高岡文化ホールにおいて生活文化展や国際交流演劇公演などが開催されたほか、十二月まで県内一円で多彩な事業が繰り広げられることになっています。

実行委員会事務局  
☎0764(44)9616

元気ふくらむ「とやま健康パーク」 10/2

■富山空港近くに来年夏オープンする富山国際健康プラザ(仮称)の愛称が「とやま健康パーク」に決まりました。

■この施設は、県民一人ひとりに合った健康づくりを提案する(健康づくりの中核拠点)、国際的な(伝統医学のメッカ)として、県が建設を進めているもので、国際伝統医学センター、生命科学館、健康スタジアムの三施設と、広大な屋外施設から構成されます。

■六月から七月にかけて行われた愛称募集には、県内外から二千二百五十六件の応募があり、親しみやすさや、屋外施設を含めた施設全体を表現していることなどから、「とやま健康パーク」が最優秀賞に選ばれました。

国体ニュース

2000年国体富山県民運動 啓発ポスター・標語 入賞作品決定 10/14

■現在、2000年国体を県民総参加で成功させることなどを目的として「2000年国体富山県民運動」が展開されています。県民の皆さんに運動への理解と関心を高めてもらおうと、七月一日から九月七日まで「2000年国体富山県民運動啓発ポスター・標語コンクール」が行われ、このたび、その入賞作品が決定されました。

■啓発ポスターには三一四四点(小学生以下の部一三四点、中学生の部一五四点、高校生以上の部二六六)、啓発標語には一〇二二点(小学生以下の部二五〇点、中学生の部四二八点、高校生以上の部三三四点)の応募があり、この中からそれぞれ、特選、入選、佳作の各賞が決定されました。特選受賞者六名には、十月十四日の2000年国体開催二年前県民運動推進大会で表彰が行われました。

☎0764(44)9667

中学生の部 中井 倫子さん (城端中・3年)

小学生以下の部 釣 達貴さん (新湊小・5年)

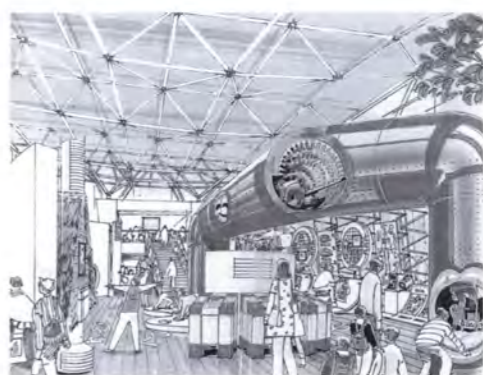
高校生以上の部 橋本 美智子さん (高岡工芸高・3年)

特選作品

- 小学生以下の部  
つくりうね すてきな国体物語  
甲田 詩織さん(五福小・6年)
- 中学生の部  
みんなが主役  
新しい国体の風をつくりよう  
藤木 絵里子さん(杉原中・1年)
- 高校生以上の部  
2000年 未来の扉 とやまから  
中谷 智美さん(大山町)

イブを組み合わせて使用することが条件となります。

■締め切りは十一月三十日、最優秀賞には賞金五十万円が贈られます。詳しくは、国際健康プラザ建設室(☎0764(44)9657)まで。



未来の食卓に 新たな提案 10/8

■第八回全国食文化交流プラザ「食祭とやま'98」が、十月八日から十二日までの五日間にわたり、富山市のテクノホールなどをメイン会場に開催されました。

■これは、未来の食卓へ新たな提案を行うことを目的に、平成三年から開かれているもので、北陸では初の開催となります。



富山藩主の正月祝膳に見入る中沖知事

■開会式で中沖知事は、「この催しが、富山の食文化を県内外に紹介するとともに、わが国の食文化の発展に寄与することを願っています」とあいさつ。

■また、オープニングイベントでは、直径二・四メートルもある千人前のジャンボます寿司を披露、試食した来場者は富山ならではの味覚に、大満足の様子でした。

■メイン会場は、「学ぶ「味わう」など五つのスペースに仕切られ、縄文人の食文化や富山藩主の正月祝膳などのテーマ展示のほか、昔ながらの伝承料理を調理の実演をまじえて紹介しました。

■また、食に関するフォーラムや講演会も開催。「国際食文化シンポジウム」では、国内外のパネリストが、自国の食文化を紹介しながら、望ましい食生活についての提言を行いました。

■期間中、メイン会場には、十五万人が来場し、食文化についての関心を深めました。

県庁公用車に低公害車導入



■このたび、県の公用車に、ガソリンエンジンと電気モーターを組み合わせるハイブリッドカーが導入されました。

■これは、県が今年1月に策定した「環境にやさしい県庁行動計画(県庁エコプラン)」に基づき導入されたものです。

■このハイブリッドカー「プリウス」は、発進時や加速時など、排気ガスが出やすい時に電気エンジンを使用するため、従来車に比べると燃費は2倍以上、二酸化炭素排出量は半分、有害排出ガスは規制値の10分の1となっています。

富山 ぽつと スペース

福野町園芸植物園の玄関先で見かけた傘立てです。

かわいいイラスト入りの案内表示ですが、植物園の次長さんの直筆だとか。思わずこころのゆとりを感じてしまいます。

それにしても傘の忘れ物が多いですね。夏から秋にかけて天候不順だったからでしょうか。

本当に早く迎えに行ってください。



このコーナーでは、皆さんからの情報をお待ちしています。

身近にある、思わず心が温かくなるような情報をお寄せください。

掲載分には、お礼を差し上げます。

※できれば写真や簡単な地図などを添付してください。

送付先 〒930-8501 (住所記載不要)  
県庁広報課「富山ぽつとスペース」係

県の施設おでかけガイド

施設名	開館時間・休館日・入館料	企画展等のお知らせ
近代美術館 ☎0764(21)7111 富山市西中野町1-16-12	9:30~17:00 ☎月曜(11/23は開館)・祝日の翌日 一般 200円 高・大160円 小・中100円	美との対話'98 [在ること]への問いかけ 12/13(日)まで 
立山博物館 ☎0764(81)1216 立山町芦峯寺93-1	9:30~17:00 ☎月曜(11/23は開館)・祝日の翌日 一般 650円 高・大 400円 小・中 250円 ※展示館・通望館・まんたら遊苑の三施設セット券の料金(各施設ごとの入場券もあります。)	神像・仏像は語る 一越中立山の山岳信仰ー 11/3(祝)まで 一般 100円 高・大 80円 小・中 50円  ●通望館の映像上映 10:00 11:00 13:00 14:00 15:00 文化講演会 「立山のこころ 日本のこころ」 講師：佐伯彰一氏 (東京大学名誉教授) 11/14(土) 14:30~16:00 県民会館701号室 ※入場無料
立山カルデラ 砂防博物館 ☎0764(81)1160 富山地方鉄道立山駅前	9:30~17:00 ☎月曜(11/23は開館)・祝日の翌日 一般 400円 高・大 320円 小・中 200円	常設展示 立山博物館(三施設)&立山カルデラ砂防博物館 共通利用券もお得です 一般 960円(240円お得) 高・大 600円(360円お得) 小・中 360円(240円お得)
中央植物園 ☎0764(66)4187 婦中町上善由42	9:00~17:00 ☎木曜・祝日の翌日 一般 600円 小・中 300円	日曜植物案内 11/1(日) 紅葉のひみつ 12/6(日) 熱帯の花木 いずれも11:00~12:00 TOYAMA植物フォーラム「ボランティア活動と植物園」 11/15(日) 13:00~16:00 ※参加無料 
こどもみらい館 ☎0766(56)9000 小杉町黒河(太閤山ランド内)	9:30~17:00 ☎火曜(11/3は開館)・第四水曜・祝日の翌日 入館無料	ねもといさむ★おもちゃの世界展 11/8(日)まで 牛乳パック・毛糸・木の枝などを使った楽しいおもちゃを展示 Gutes Spielzeug よい玩具展覧会 11/15(日)~1/17(日) ドイツの「子どもの遊びと玩具審議会」が厳選した約200点の玩具を展示
埋蔵文化財センター ☎0764(34)2814 富山市茶屋町206-3	9:00~17:00 ☎土曜・日曜・祝日 (特別企画展中は無休) 入館無料	特別企画展「石のアクセサリ」 11/12(木)まで 原始・古代のヒスイ製垂飾りなどの装身具を紹介します。 企画展「高速道路の下に眠る遺跡」 12/3(木)~3/31(水) 高速道路建設に伴う、発掘調査の成果を紹介します。
公文書館 ☎0764(34)4050 富山市茶屋町33-2	9:00~17:00 ☎土曜・日曜・祝日 入館無料	特別企画展「前近代越中の陸上交通」 12/11(金)まで
帆船海王丸 ☎0766(82)5181 新湊市海王町(海王丸パーク内)	9:30~16:00 ☎月曜・祝日の翌日 一般 400円 小・中 200円	総帆展帆 11/3(祝) ※11/4(水)~12/3(木)は、船体整備・点検のため乗船できません。
県民小劇場オルビス ☎0764(45)4531 富山駅前マリエ7階	オルビスと巡る「舞台芸術・芸能発見ライブ」 Vol.7 サクソフオーンっておもしろい! 12/10(木) 19:00~ 前売券 3,000円(当日 3,500円) ※会員は無料です。 テレビCMでもおなじみの須川展也を招き、サクソフオーンの魅力に迫ります。 	



体重と健康



**Q**

健康診断で、体重が重く太り過ぎみなので注意するようにといわれました。血圧や血液検査は全く問題がないのですが……。太っているのは健康に悪いのでしょうか。

**A**

問題は体重が重いことではありません。体重だけで判断すれば、柔道や相撲の選手など、筋肉が発達しているために体重が重い人まで不健康ということになってしまいます。

問題なのは、身体にムダな脂肪が付き過ぎた場合です。このため、体重だけでなく、体格指数(BMI)や、体脂肪率も併せて判断する必要があります。ムダな脂肪が増えると、ホルモンなどの動きが悪くなり、糖尿病や高コレステロール血症などの生活習慣病になりやすくなります。また、同じ脂肪でも、皮下脂肪より、内臓についている脂肪の方が要注意です。お尻と太ももが太めの人より、上半身、特におなかの回りに脂肪がついている人の方が生活習慣病になりやすいといえるでしょう。ムダな脂肪を減らすためには、適度な運動を心がけ、食生活を見直すなど、健康的な生活を習慣づけることが大切です。来年夏にオープンする国際健康プラザ(仮称)では、一人ひとりの体力や健康状態に応じて気軽に継続できる個別プログラムを作成し、水中歩行やストレッチングなどの運動実践指導や食生活診断に基づく栄養指導を通じて、皆さんの健康づくりをお手伝いすることになります。

※今日号から、「くらしのアドバイス」にかわって「健康ひとくちメモ」をお届けします。  
問合せ 国際健康プラザ建設室  
☎0764-44-9657

今月号から表紙や裏表紙のデザインをリニューアルほか、紙質も蛍光灯の下で光が反射しにくいものにしました。また、読者からのご意見をもとに「県の施設のおでかけガイド」を始めたほか、先月号からはプレゼント当選者を発表しています。これからも皆さんのご意見を参考にしながら広報誌を作っていくたいと思っておりますので、よろしくお祈りします。(Y)

今月号をもって県広報とやまを離れることになった。平成九年一月から今月号まで、取材に伺った方は、五十人以上。その一人ひとりの顔が懐かしく思い出される。ほんの短い時間ながらその人の人生観に触れた体験は自分にとって大きな宝となった。この紙面を借りて改めてお礼をいいたい。(I)

**後編 集**

1ページで紹介した「新湊市博物館」のジグソーパズル富山県地図と、ピンナップとやま(7、8ページ)の写真をそれぞれ5名の方にプレゼントします。官製ハガキに下記のとおり記載してお申し込みください。11月30日消印有効です。

希望のプレゼント名  
氏名 年齢  
郵便番号 住所  
電話番号  
本誌の入手方法  
本誌についての感想

930 富山県庁広報課  
県広報とやま11月号  
プレゼント係あて

8月号プレゼント当選者  
■立山カルデラ砂防博物館テレホンカード  
松木一枝さん、萩中祐子さん、松川美香さん、上原寿美代さん、坂本サトミさん  
中島奈美子さん(以上富山市)、池田和宏さん(高岡市)、織田桂子さん(福光町)  
本川優さん(小杉町)、老田秀春さん(上市町)  
■ピンナップとやま写真  
竹内美矢子さん(富山市)、佐藤順子さん(高岡市)、吉岡幸文さん(魚津市)  
井口雅子さん(福光町)、谷道梅子さん(小杉町)

◆「県広報とやま」は原則として毎月一日に発行し、県庁正面窓口、県刊行物センター(県民会館一階)、県税事務所、市町村役場窓口などで無料配布しています。郵送による定期購読をご希望の場合は郵便番号、住所、氏名、電話番号、購読期間(〇月号〜〇月号)を明記し郵送料として二六〇円切手を必要枚数(二枚あたり一枚)同封のうえ左記までお申し込みください。あて先 〒930-8501(住所記載不要)富山県庁広報課



とやま  
音のある風景  
Vol.7



# 木地師の 匠の技の 結晶

庄川挽物木地(庄川町)

庄川町には、庄川挽物木地を作る木工業者が二十社余り集まり、茶碗や浅盆など、生活に身近な木製品を生産している。

挽物木地を作る職人、木地師たちは、何本もの鉋かんを駆使し、自由自在に材料を削り上げる。全身の感覚を鉋の刃先に集中させ、高速で回転する板の表面を滑らせると、「ギギーツ」という音とともに、細かい木くずがぱつと飛び散る。材料の板などの香が辺り二面漂うなか、均整がとれ、木目の美しい木地が出来上がる。

それは、長年の経験と鍛練によって生み出された匠の技の結晶ともいえよう。

江戸時代、庄川は飛騨地方からの材木の運搬に利用され、庄川町は一大集散地として栄えていた。そこに目を付けた木地師えらごやせいじ、越後屋清次が一八六六年(慶応二年)、魚津からこの地に移り住み、ろくろ木地を営んだ。それが庄川挽物木地の始まりである。戦後はプラスチック製品の台頭などで打撃を受けたものの、大量生産品にはない手作業の魅力が見直され、昭和五十三年には、国の伝統的工芸材料に指定されている。

この間、木地師たちは、からかさ鉋など工夫を凝らした道具を生み出し、独特の製法を確立した。その精神は現代にも受け継がれ、新たな製品開発も進んでいる。作業場から聞こえてくる木地を挽く音は、伝統を守りつつ、決して伝統に甘んじない木地師たちの心意気を物語っているかのようである。